



相談件数は右肩上がり。氏への個別相談は年間延べ1000件超、採用から解雇、人事・賃金、メンタルヘルスなど、多様化する労使トラブルと企業体制の再構築に奮闘している。

「机上論ではなく、経験に基づいた提案が重要。また、複数社労士体制は、事業を多方面からアプローチでき、最適な解決策を導き出せます」

モットーは「我々は社会保険労務士である前に経営コンサルタントであれ。業績向上につながる提案をする。」

「経営者と社員の関係を把握した診立てによる提案が鍵」と考え、細部に至るまで独自の経営安定化策を講じる。予防マニュアルの配本などのほか、労働法が得意な弁護士や行政書士とグループを形成、ワンストップサービスを提供している。

「経営者から学ぶ姿勢を現場主義と考え、今後も相談先の発展に貢献していきたい」

賃金と労務相談を売りにした社労士事務所を構築

石田和彦氏

北海道賃金労務研究所代表
北海道労働保険協会理事長

(いしだ・かずひこ) 1968年奈良県生まれ。北海道大学卒業後、食品メーカーに就職。その後、社労士資格を取得。